

1G-FE (VVT-i付) エンジン搭載車

T・P・N・V店

標 題 1G-FE (VVT-i付) データモニター参考値訂正のお知らせ

1998年8月以降のクラウン・マークII・チェイサー・クレスト及びアルテッツァに搭載されている1G-FE (VVT-i付) エンジンにおいて、データモニターの参考値に誤りがありましたので訂正致します。

部位 クラウンセダン・ハードトップ新型車解説書・修理書 (品番61736,1998年8月発行) P EN-11
マークII・チェイサー・クレスト修理書/追補版 (品番62190,1998年8月発行) P EN-11
アルテッツァ修理書 (品番62191,1998年10月発行) P EN-13
部訂正

[変更後]

2. ECUデータモニター
基準値

修正
×777224
2000/2/17
車検付

項目名	項目名解説	点検条件	参考値	異常時の主な点検項目
スロットル絶対位置センサー (THPS)	スロットル開度センサー (メイン) の出力を表す 表示範囲: 0~100%	スロットルバルブ 全開時	8~20%	VC、VTA (1) 電圧
スロットル絶対位置センサー (THPS)	スロットル開度センサー (メイン) の出力を表す 表示範囲: 0~100%	スロットルバルブ 全開時	64~96%	VC、VTA (1) 電圧
スロットル絶対位置センサー (THPS)	スロットル開度センサー (メイン) の出力を表す 表示範囲: 0~100%	スロットルバルブ 全閉→全開	連続して変化	VC、VTA (1) 電圧

担当: サービス部 第1技術室
五味 (05617-4-4622)

以 上

P、N、V 店

標 題 マークII、チェイサー、クスタ修理書／追補版内容訂正・追加のお知らせ

マークII、チェイサー、クスタ修理書／追補版（品番 62190 1998年8月発行）の内容に訂正・追加がありましたのでお知らせ致します。

部位 P EN-11 エンジンコントロールシステム

スロットルNo. 1センサーのECUデータモニターの参考値に誤りがありましたので訂正いたします。

訂正後)

S2000による点検

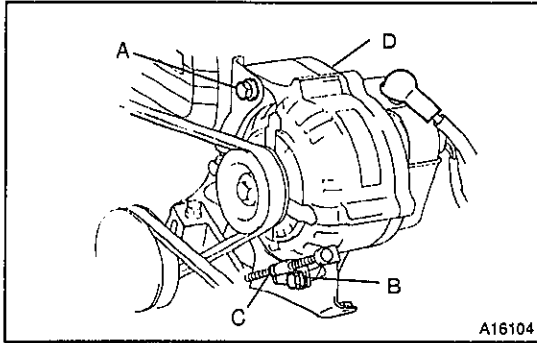
2. ECUデータモニター マークII
基準値 と

項目名	項目名解説	点検条件	参考値	異常時の主な点検項目
スロットル (No.1) センサー開度 (THPS)	スロットルNo.1センサーの開度を表す 表示範囲：0～100%	スロットルバルブ全閉時	8～16%	VC、VTA電圧
スロットル (No.1) センサー開度 (THPS)	スロットルNo.1センサーの開度を表す 表示範囲：0～100%	スロットルバルブ全開時	76～84%	VC、VTA電圧
スロットル (No.1) センサー開度 (THPS)	スロットルNo.1センサーの開度を表す 表示範囲：0～100%	スロットルバルブ全閉→全開	連続して変化	VC、VTA電圧

部位 PEM-7 ファン&オルタネータVベルト調整

1G-FEエンジンのオルタネータスルーボルトが(8T→11T+表面処理)変更になりましたので、オルタネータスルーボルト用ナットの締付トルクを変更しました。 変更時期(2000/1月末生産車～)

変更後)



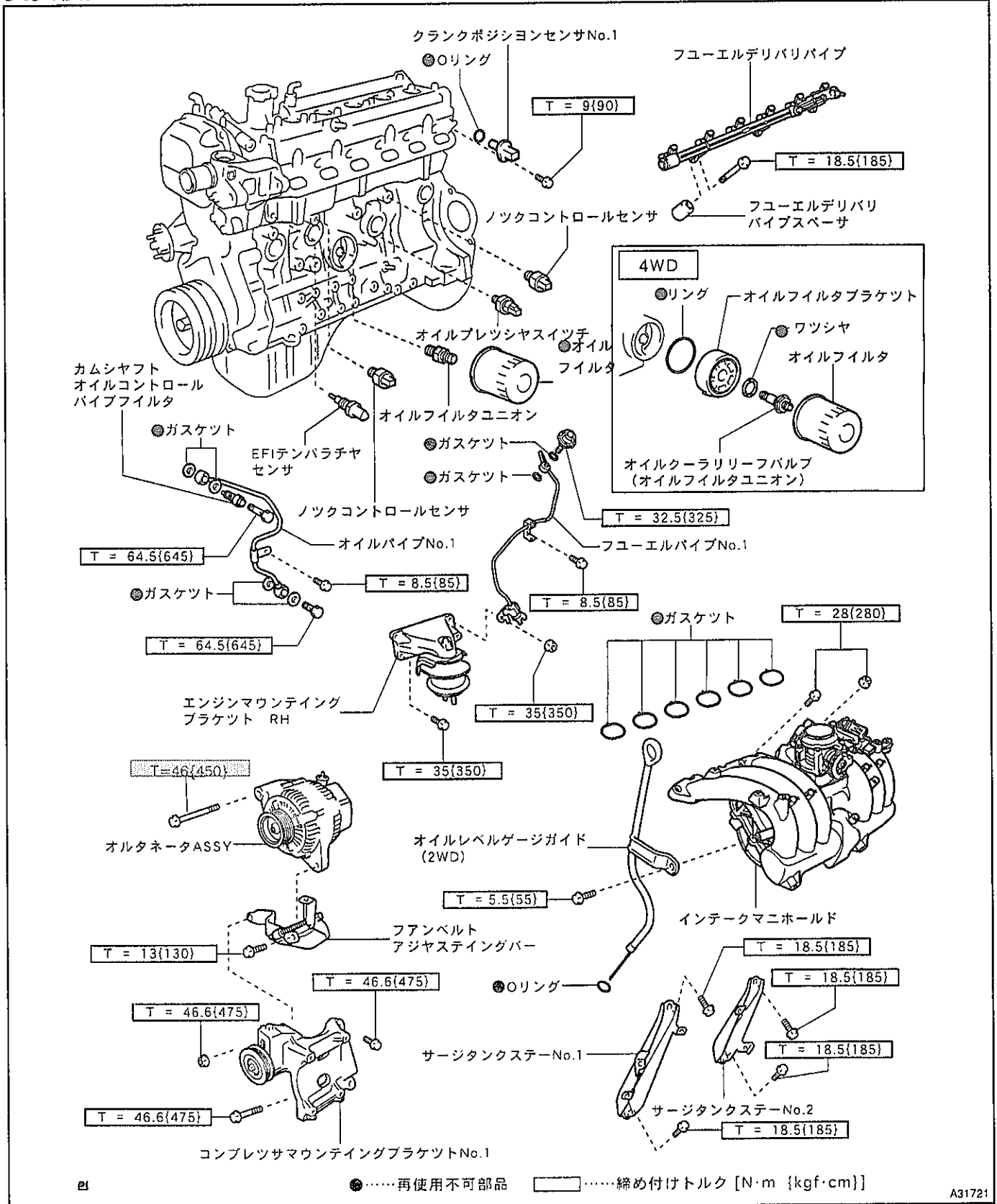
8. ファン&オルタネータVベルト調整

- (1) ボルトB、ナットDをゆるめる。
 - (2) ボルトAを仮締めする。
 $T=20.0\text{N}\cdot\text{m}$ {200kgf·cm}
 - (3) アジャスティングナットCを回して張力を調整する。
 - (4) ボルトBを締め付ける。
 $T=12.8\text{N}\cdot\text{m}$ {130kgf·cm}
 - (5) ナットDを締め付ける。
 $T=46.0\text{N}\cdot\text{m}$ {450kgf·cm}
- <注意>
 $T=37.0\text{N}\cdot\text{m}$ {365kgf·cm}以上の締付トルクを確保する。
- (6) ベルトの張力またはたわみ量を確認する。

部位 PEM-11 パーシャルエンジンASSY構成図 部変更

1G-FEエンジンのオルタネータスルーボルトが(8T→11T+表面処理)変更になりましたのでオルタネータスルーボルト用ナットの締め付トルクを変更しました。

変更後)



部位
PEM-57 シリンダガスケット 構成図 部変更

1G-FEエンジンのオルタネータースルーボルトが(8T→11T+表面処理)変更になりましたのでオルタネータースルーボルト用ナットの締付トルクを変更しました。

変更後)

